

令和2年5月26日
横浜市立あざみ野第一小学校
校長 山本 佐知子
PTA会長 久間 隆一

学校再開第一期における緊急受け入れについて

緊急事態宣言が解除され、ようやく学校再開の見込みとなりました。保護者の皆さまには、長期間にわたってご理解とご協力をありがとうございました。

さて、課題配付時にお配りしたお知らせの通り、横浜市立小学校は6月1日より段階的に教育活動を再開し、第一期(6月1日~12日)は、分散登校による半日程度の短縮授業となっております。授業開始前や授業終了後に児童一人で家庭で過ごさなければならない状況への「緊急措置」として、緊急受け入れについてもお知らせしたところですが、臨時休校中の緊急受け入れと状況が異なり、様々な懸念があることから、ご利用の精査(利用日削減へのご協力)をお願いしたく、お知らせいたします。

<3密の懸念>

午前、午後のダブル授業により、普通教室の使用ができないことに加え、学級担任はクラス対応、担任以外の職員は受付・消毒業務があり、監督者不足も予想されます。

<プログラム変更による児童の負担増への懸念>

臨時休校中の受け入れでは、子ども達の心的負担を軽減するため、「校庭での適度な運動」や「図書室での読書」、「動画視聴」等を組み合わせて、プログラムを組んでおりましたが、授業と並行しての受け入れにおいては、これらの活動が大きく制限されます。「しゃべらない」「動かない」が必要とされる座学の割合が多くを占める状態となり、「がまん」をする状態が増すことによる心的影響が懸念されます。

以上のことを踏まえ、学童等のご利用も含め、ご家庭でご検討いただき、必要最小限のご利用へのご協力を重ねてお願い申し上げます。